

入札心得書

入札に当たっては、下記事項に十分留意してください。

- 1 入札に関する事項を十分理解し、すべてを了知した上で入札すること。
- 2 上記の入札に関する事項とは、入札説明書、仕様書、契約書案及び係員が説明する入札に関する諸事項をいうものであること。
- 3 上記入札事項について、不明な点、疑問な点、その他理解できない点があった場合は、福岡県環境部廃棄物対策課へ問い合わせること。
- 4 開札（入札）中は、一切の発言を認めないので静粛にすること。
- 5 入札に参加する者は、入札について談合又は何等の協議もしてはならない。
- 6 県に提出した入札書は、書き換えたり、撤回することができないので、誤算、違算又は見込み違い等のないように十分に注意すること。
- 7 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に100分の10に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
また、金額はアラビア数字で記入すること。
- 8 次の入札書は無効となるものであること。なお、無効入札をした者は、2回目の入札に参加することはできないこと。
 - (1) 金額の記載がない入札又は入札金額を訂正した入札
 - (2) 法令又は入札に関する条件に違反している入札
 - (3) 同一入札者が二以上の入札をした場合、当該入札者のすべての入札
 - (4) 所定の場所及び日時に到達しない入札
 - (5) 入札者又はその代理人の記名押印がなく、入札者が判明できない入札
 - (6) 入札保証金が見積金額（消費税及び地方消費税を含む。）の100分の5に達しない入札
 - (7) 金額の重複記載又は誤字若しくは脱字により、必要事項を確認できない入札
 - (8) 入札参加資格のない者、入札参加条件を満たさない者（開札時点において指名停止期間中である者等入札参加条件に反した者を含む。）及び虚偽の申請を行った者がした入札
 - (9) 入札書の日付のない入札又は日付に記載誤りがある入札
- 9 入札は、本人又は代理人によって行われることとなるが、代理人の場合は、委任状を入札前に提出し、その確認を受けた後に入札に参加すること。
また、入札書に押印する印鑑は、委任状に押印した代理人の印鑑（私印）を押印すること。
- 10 落札となるべき同価の入札をした者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定することとする。この場合において、当該入札者のうちくじを引かない者がいるときは、これに代えて当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。
- 11 第1回で落札者が決定しない場合は、再度の入札を行うこと。第2回の入札に参加する意思がないときは辞退届に記入し、係員に提出すること。再度の入札でも落札者が決定しない場合は、予定価格の範囲内で随意契約すること。
- 12 入札にあたり不正な行為が行われたと認められるに足る事実が判明した場合は、退場を命じること、又は入札を中止することもあること。
- 13 入札は、県の予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申し込みをした者を契約の相手方とするが、当該契約の確定は、県が提出した契約書に双方がともに押印するとともに、落札者が暴力団排除条項を記載した誓約書に押印したときであること。
- 14 落札者は、直ちに県の指示に従い、契約確定のための事務手続きを進めることについて協力すること。
- 15 入札書は、県の定める様式によるものとし、あらかじめ用意しておくこと。

入札補足説明資料

- 公告の８のとおり開催します。
- 入札書の提出方法について
 - ・ 入札書は、入札日に直接入札場所へ持参していただきます。その他の方法は認めていません。
- 入札書の日付と入札書の記名について
 - ・ 入札書の日付は、令和７年１１月７日となります。日付のないもの又は日付の記載誤りがある場合は、当該入札書は無効となりますので注意してください。
 - ・ 入札書の記名・押印は、入札前に委任状が提出されているときは、委任された人の名前とその人の印鑑（私印）になります。
 - ・ 入札前に委任状を提出していない場合は、本県に登録されている代表者（又は委任を受けて登録してある支店長等）の名前と代表者印（又は支店長等の印）となります。
- 入札参加申請書等の提出
 - ・ 入札に参加を希望する場合は、入札参加申請書（別添様式１）及び過去５年の間に、地方公共団体又は国から、以下に示す条件の不特定又は特定多数の者からの電話を受付け、回答する業務を含む業務を合計２回以上受託し、これを完了させていることが確認できる書類（公告に示すもの）を令和７年１１月４日（火）午後５時までに環境部廃棄物対策課施設第一係に持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。以下同じ）により提出していただきます。期限までに提出がない場合には、入札には参加できません。
【条件】１回の委託業務における想定する電話の受付件数が１００件を超えるもの
（注意：業務委託契約ごとに条件を満たす必要があります。）
- 入札書の書き方について
 - ・ 記入例を参考にしてください。
 - ・ ￥マークの横の入札金額、記名、押印がない場合は無効となります。入札金額の訂正も不可（数字の書き間違いに注意すること）、金額は税抜きとなります。
- 入札保証金について
 - ・ 入札書を提出される方は、次のいずれかの手段で入札保証金（又はそれに代わるもの）を県に提出していただく必要があります。（②及び③については、持参又は郵送により提出すること。）
 - ① 入札保証金を納める。
 - ・ 入札保証金の金額は、見積金額（消費税及び地方消費税を含む。以下同じ。）の１００分の５以上とします。
 - ・ 現金（小切手の場合は銀行が振出又は支払保証をしたものに限る。）により納付する場合は、受け入れの準備が必要であるため、令和７年１１月４日（火）午前１１時までに廃棄物対策課施設第一係に連絡してください。
 - ・ 小切手等とともに「保証金等納付書」に記入・押印していただきます。「保証金等納付書」が必要な方は、環境部廃棄物対策施設第一係にてお配りします。
 - ・ 入札保証金の納付の際に、委任状も持参されれば、代理人の私印で手続きができます。委任状を持参されない場合は、代表者印がないと納付の手続きができませんので、その場合は予め「保証金等納付書」を環境部廃棄物対策課施設第一係において入手し、必要事項を記入の上、代表者印を押印して持参するようにしてください。

- ・ 入札保証金は、指定の納付日に納付されるようお願いいたします。

② 入札保証保険に入って、その証書を提出する。

- ・ 保険金額は、見積金額の100分の5以上とします。
- ・ 保険期間は、開札の日から8日間（休日を除く）であること。
- ・ 入札保証保険契約により入札保証金の免除手続きをされる場合は、令和7年11月4日（火）午前11時までに提出してください。

③ 過去2年の間に地方公共団体又は国と種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上わたって締結し、これをすべて誠実に履行したことを証明する書面（※ 添付する証明書類は、地方公共団体又は国が証明したもの（原本））を提出してください。

なお、過去に当課を発注者とする契約が該当する場合、証明書の提出は不要となるため、その旨お申し出ください。

- ・ 過去2年の間に地方公共団体又は国と種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上わたって締結し、これをすべて誠実に履行したことを証明する書面により入札保証金の免除手続きをされる場合は、令和7年11月4日（火）午前11時までに提出してください。

○ 開札について

- ・ 開札は、本人又は代理人として委任を受けている方が立ち会えます。代理人の場合は委任状が必要です。
- ・ 当日は、名刺を持参し、提出してください。忘れていて本人であることの確認ができない場合は、開札に立ち会えないことがあります。

○ 再入札について

- ・ 1回目の入札で落札者がいない場合（予定価格の範囲内の価格の入札がない場合）には、その場で2回目の入札を行います。その準備もお願いします。ただし、1回目の入札で有効な入札書を提出した者だけが2回目の入札に参加できますので、注意してください。
- ・ 2回の入札でも落札者が決定しない場合には、予定価格の範囲内で最低価格入札者と随意契約します。

○ 落札後の提出書類について

落札後、落札者は公告の「14 その他（5）」に示す書類をすみやかに提出してください。